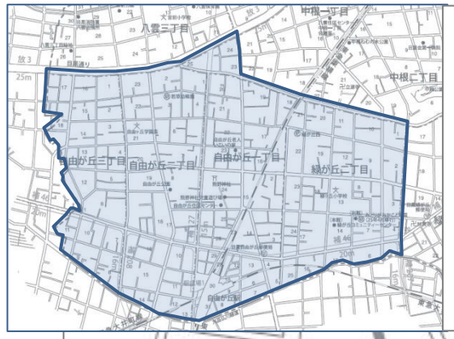
参考資料１

自由が丘駅周辺地区の街づくり（各地区の取組）



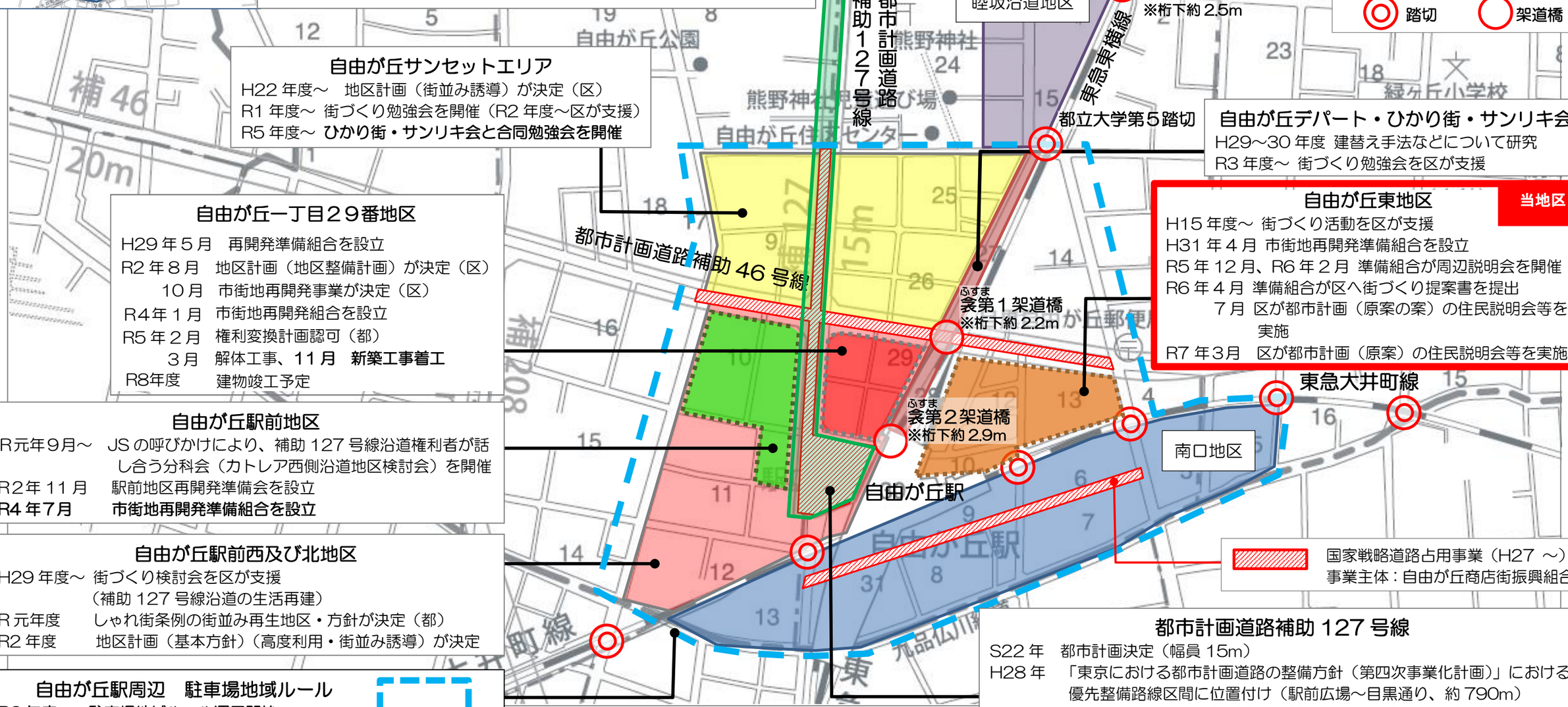
自由が丘駅周辺地区(約 76ha)

※都市再生推進法人(株)ジェイ・スピリット(JS)の活動区域

H18 年度～　JS と区が連携して都市再生整備計画事業を実施（～27 年度）
H27 年度～　街づくり連絡会（R1 年度～街づくり連絡調整会）を開催（区）
R２年度　　自由が丘のグランドデザイン策定（JS）
R5 年２月　公民連携による自由が丘エリアプラットフォーム設立、自由が丘未来ビジョン策定
12 月　自由が丘エリアプラットフォーム連絡調整会（第１回）開催

東急大井町線・東急東横線

H16 年度　都「踏切対策基本方針」の検討対象区間に位置付
H19 年度　検討調査（区・東急）
R3 年度～　道路と鉄道の立体化について検討開始
R5 年４月　自由が丘駅周辺地区都市基盤整備構想を策定
R5 年度～　広域的な道路ネットワークや将来的な駅周辺のウォーカブル空間構築について検討
R6 年４月　地域による踏切解消連絡会が設立



自由が丘サンセットエリア

H22 年度～　地区計画（街並み誘導）が決定（区）
R1 年度～ 街づくり勉強会を開催（R2 年度～区が支援）
R5 年度～ **ひかり街・サンリキ会と合同勉強会を開催**

自由が丘デパート・ひかり街・サンリキ会

H29～30 年度 建替え手法などについて研究
R3 年度～ 街づくり勉強会を区が支援

自由が丘東地区　当地区

H15 年度～ 街づくり活動を区が支援
H31 年４月 市街地再開発準備組合を設立
R5 年 12 月、R6 年２月 準備組合が周辺説明会を開催
R6 年４月 準備組合が区へ街づくり提案書を提出
７月 区が都市計画（原案の案）の住民説明会等を実施
R7 年３月　区が都市計画（原案）の住民説明会等を実施

自由が丘一丁目２９番地区

H29 年５月　再開発準備組合を設立
R2 年８月　地区計画（地区整備計画）が決定（区）
10 月　市街地再開発事業が決定（区）
R4年１月　市街地再開発組合を設立
R5 年２月　権利変換計画認可（都）
３月　解体工事、**11 月　新築工事着工**
R8年度　建物竣工予定

自由が丘駅前地区

R元年９月～　JS の呼びかけにより、補助 127 号線沿道権利者が話し合う分科会（カトレア西側沿道地区検討会）を開催
R2年 11 月　駅前地区再開発準備会を設立
R4 年７月　市街地再開発準備組合を設立

自由が丘駅前西及び北地区

H29 年度～ 街づくり検討会を区が支援
（補助 127 号線沿道の生活再建）
R 元年度　しゃれ街条例の街並み再生地区・方針が決定（都）
R2 年度　地区計画（基本方針）（高度利用・街並み誘導）が決定

自由が丘駅周辺　駐車場地域ルール

R6 年度～　駐車場地域ルール運用開始

都市計画道路補助 127 号線

S22 年　都市計画決定（幅員 15m）
H28 年　「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」における優先整備路線区間に位置付け（駅前広場～目黒通り、約 790m）
R4 年９月　事業認可取得　※駅前広場～補助 46 号線までの区間、約 145m